

村中李衣さんによる

なんでも話そう、聞いてみよう、 子どもの本のこと



2019.12.15日
14:00~15:30

萩市立萩図書館

2階 研修室

萩市大字江向 552-2
Tel 0838-25-6355

【村中李衣さん】(むらなか・りえ)

1958年山口県生まれ。筑波大学人間学類卒業。日本女子大学大学院で児童文学を学ぶ。ノートルダム清心女子大学教授。創作活動に従事する一方、「読書療法」「絵本を介したコミュニケーションの可能性」「関係性の回復をめざしたトレーニング」をテーマに研究・執筆を続ける。1984年『かむさはむにだ』(偕成社)で第17回日本児童文学者協会新人賞、1985年『小さいベッド』(偕成社)で第32回産経児童文化賞、1990年『おねいちゃん』(理論社)で第28回野間児童文芸賞、2013年『チャーシューの月』(佐藤真紀子/絵 小峰書店)で第53回日本児童文学者協会賞、2017年「長期入院児のための絵本の読みあい」で第1回日本絵本研究賞受賞。著書に『ばあすけ』(宮本忠夫/絵 あかね書房)、『生きることのデッサン—絵本・子ども・わたし』(ぶどう社)、『ふしぎのくにのほんご』(教育出版)、『絵本を読みあうということ—読書療法の向こう側とこちら側』(ぶどう社)、『かわむらまさこのあつい日々』(内沢旬子/絵 岩崎書店)、『やまさきしょうてんひとくちもなか』(川端誠/絵 大日本図書)、『読書療法から読みあいへ』(教育出版)、『跳ぶ教室—人間関係教育の試み』(教育出版)、『うんこ日記』(川端誠/絵 BL出版)、『こころのほつれ、なおしやさん。』(クレヨンハウス)、『とうちゃん、おかえり』(あべ弘士/絵 ポプラ社)、『絵本の読みあいからみえてくるもの』(ぶどう社)、『五領域絵本 くつしたのはら』(こやまこい/絵 日本標準)、『なんかへんだを手紙でつたえる』(玉川大学出版局)、『かあさんのしっぽっぽ』(BL出版)など。

児童文学作家の村中李衣さんより、読み聞かせ活動に必要な絵本の見方・選び方を学び、子どもの本を見る目を養います。

対象：絵本ボランティアをしている人や
子どもの本に興味のあるおとな

定員：50名(要申込・先着順)

資料費：500円

申込：こどもと本ジョイントネット21・山口
萩ベースキャンプ 090-1019-9662 (有田)
山口ベースキャンプ 090-3636-2617 (山口)

主催：

こどもと本ジョイントネット21・山口

共催：お話の出前ジョイントネット萩「草の芽」

後援：萩市教育委員会、山口県子ども文庫連絡会